

## ホテル日航アリビラ

ホテル日航アリビラ（沖縄県中頭郡読谷村）は、環境に配慮した「エコフレンドリーリゾート」を目指し、様々な取り組みを行ってきた。今年2月に、コージェネレーションやBEMSの導入によるエネルギーの使用合理化などが認められ、平成23年度エネルギー管理優良工場等表彰式において沖縄総合事務局長表彰を受賞した。全社的な省エネや環境配慮の取り組みをご紹介します。



図-1 ホテル日航アリビラの全景

### 1. 施設概要

ホテル日航アリビラは、沖縄本島でも特に歴史と文化を色濃く残す読谷（よみたん）村にあり、世界屈指の透明度を誇る慶良間（けらま）諸島を対岸に臨む美しいビーチと自然景観を有し、沖縄の自然に溶け込むスパニッシュコロニアル風の概観が印象的なリゾートホテルである。

表-1 ホテル日航アリビラの概要

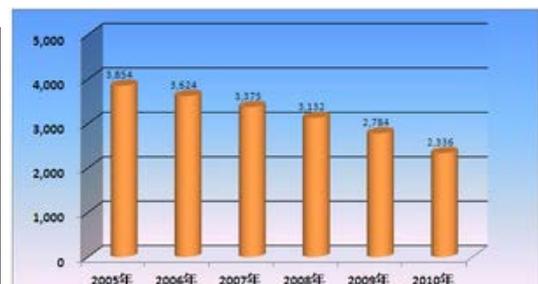
所在地	沖縄県中頭郡読谷村
開業	1994年6月
階数	地上10階
延べ床面積	38,000平方メートル
客室総数	396室
収容人数	1,158名

### 2. 省エネ・環境配慮の取り組み

当ホテルは、1994年の開業当初から環境に配慮した「エコフレンドリーリゾート」を目指し、様々な取り組みを行ってきた。特にコージェネレーションやBEMSなどの導入によるエネルギーの使用合理化などの取り組みやこれらによるエネルギー使用量削減実績が高く評価され、2012年2月に内閣府沖縄総合事務局および沖縄電気安全使用合理化委員会が主催する平成23年度エネルギー管理優良工場等表彰式において沖縄総合事務局長表彰を受賞した。

#### (1) エネルギー使用量削減実績

	原油換算 kl	前年比%	前年比累計%
2005年	3,854		
2006年	3,624	-6.0%	-6.0%
2007年	3,375	-6.9%	-12.4%
2008年	3,132	-7.2%	-18.7%
2009年	2,784	-11.1%	-27.8%
2010年	2,336	-16.1%	-39.4%



## (2) コージェネレーションの導入

2002年にはコージェネレーション1,500kW(500kW×3台 ヤンマー製ディーゼルエンジン)を(株)プログレッシブエナジー社の協力のもと導入し、自家発電比率を80%まで高めるとともに、廃熱を利用して客室内および厨房内の給湯の大部分をまかなうことで重油使用量やCO<sub>2</sub>排出量を削減した。

また、コージェネレーションを非常用発電設備としても使用し、非常時にも防災用電力を供給できる体制を整備している。



図-2 コージェネレーション



図-3 ヤンマー製ディーゼルエンジン(500kW)



図-4 廃熱回収用熱交換器

(システム構成については、変更の予定あり。)



図-5 廃熱回収用ストレージタンク

## (3) BEMSの導入

2006年より建物の室内環境や各設備を監視する中央監視装置をBEMS化し、エネルギー管理の効率化を実現。エネルギー使用量を把握し、熱源ポンプや冷水ポンプの変流量の制御を行う等により、エネルギー使用量を大きく削減してきた。

## (4) その他

設備機器の点検整備状況を管理するとともに、適切な時期に更新を行うことにより、効率的なエネルギー利用に貢献してきた。

また、社内に省エネ事務局を設置し、グリーン電力を使用してLEDによりイルミネーシ

ョンを点灯する等、様々な省エネ・省CO<sub>2</sub>の取り組みを進めている。

#### 4. 最後に

今回の取材では、沖縄の自然と環境を保護するために 1994 年の開業以来、続けてこられた様々な取り組みについてお話を伺うことが出来ました。

ご多忙の中、貴重な時間を割いて頂きましたホテル日航アリビラ 総務部施設管理課 マネージャー 又吉様および(株)プログレッシブエナジー社の皆様に書面を借りて改めて御礼申し上げます。



**図-6 庭園が美しいホテルの外観  
(昨年、ウミガメがふ化したビーチを背景に)**